

平成25年度 事業報告書

○公1事業

教育・文化・スポーツ系の教室、大会の開催、体育施設の管理運営を通じてスポーツの振興と県民の心身の健全な発達に寄与する事業を行いました。

公1-1) スポーツの振興に関する事業を行いました。

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
リラクゼーションヨガ	身体と心のリフレッシュやリラクゼーションを目的としたヨガ教室を行いました。	通年	ビッグ愛 601号室	1,000名	1,000名	0
ヨガ・深めるヨガ	体のバランスを整え、体のゆがみや腰痛等の改善を目指したヨガ教室を行いました。	通年	ビッグ愛 601号室	1,320名	1,250名	△ 70
氣功	「氣功法」と「呼吸法」を取り入れて自己治癒力を高め、健康づくりを目指しました。	通年	ビッグ愛 601号室	800名	446名	△ 354
リラククスアロマヨガ (午前・午後)	アロマを炊くことでリラックス効果を高めたヨガ教室を行いました。	通年	ビッグ愛 601号室	2,080名	2,070名	△ 10
ハワイアンフラダンス (午前・午後[初級・中級])	ハワイアンのリズムに合わせて全身運動とダンスの習得を目指しました。	通年	ビッグ愛 601号室	1,760名	1,340名	△ 420
ベリーダンス (ポストチャーベリー・ オリエンタルベリーダンス)	ベリーダンスで体幹を強化し、健康でバランスのとれた体を目指しました。	通年	ビッグ愛 601号室	800名	560名	△ 240
ベビーマッサージと ママの骨盤調整ヨガ	親と子のスキンシップを通して「絆」を深めることや、産後の骨盤調整を目的としました。	通年	ビッグ愛 601号室	800名	630名	△ 170
健康レクリエーション	レクリエーションを通じて、コミュニケーション力や表現力をやしなう支援者を養成しました。	10月～1月	ビッグ愛 展示ホール	70名	19名	△ 51
ハイキング	ハイキングを通じて、健康保持や、健康と体力向上のきっかけづくりに寄与しました。	11月	近畿圏内のハイキングコース	40名	22名	△ 18
屋ヨガ(健康体操)	講師の都合がつかず、実施できませんでした。	10月～3月	ビッグ愛 601号室	315名	0名	△ 315
mama & babyの英語で体操 (英語体操)	外国人講師による英語を使った体操教室を行いました。 対象:3歳まで	10月～3月	ビッグ愛 601号室	300名	200名	△ 100
ファミリースポーツ教室	健康体力づくりや多世代の交流を目的に他種目の教室を開催しました。 ソフトテニス、ショートテニス、テニス卓球、バドミントン、新体操、健康体操の教室を行いました。	通年	ビッグホエール 大ホール 軽運動場	6,000名	4,810名	△ 1,190
ビッグホエールスポーツ教室	小・中学生を対象にバスケットボール、バレーボール、屋内ホッケーの種目で運動の楽しさとより高い技術の習得やルールやマナーを指導しました。	通年	ビッグホエール 大ホール	2,100名	1,510名	△ 590
フットサル教室	小学生を対象にフットサルを通じて運動の楽しさとより高い技術の習得やルールやマナーを指導しました。	通年	ビッグホエール 大ホール	750名	730名	△ 20
癒しゆるヨガ	ヨガのポーズ、呼吸、瞑想を三位一体とし、心と体の声を聞きながら心身のバランスを整えました。	通年	ビッグホエール 軽運動場	672名	536名	△ 136
エアロ教室	音楽に合わせて楽しく有酸素運動する中で疾病リスクを小さくさせ、健康増進を図りました。	通年	ビッグホエール 軽運動場	800名	745名	△ 55
新体操教室	小学生を対象に新体操を通じて運動の楽しさとより高い技術の習得や集団で行動するうえでのルールやマナーを指導しました。	通年	ビッグホエール 軽運動場	750名	560名	△ 190

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
健康フラダンス教室	ハワイアンのリズムに合わせて楽しく体を動かし、健康増進を図りました。	通年	ビッグホエール 軽運動場	1,000名	930名	△ 70
なぎなた教室	なぎなたを通じて運動の楽しさとより高い技術の習得や健康増進を図りました。	通年	ビッグホエール 軽運動場	800名	600名	△ 200
初級柔道教室	柔道初心者の小学生を対象に日本古来の伝統文化である柔道を基礎から指導しました。	通年	ビッグウエーブ 武道場	1,020名	187名	△ 833
錬成剣道教室	経験のある中学生を対象に日本古来の伝統文化である剣道を正しく指導しました。	通年	ビッグウエーブ 武道場	1,120名	714名	△ 406
体操教室	講師と会場の都合がつかず、実施できませんでした。	10月～3月	ビッグウエーブ メインアリーナ	200名	0名	△ 200
フットサル大会	健康の増進と競技力向上を目的に小学生のフットサル大会を行いました。	1月	ビッグウエーブ メインアリーナ	150名	143名	△ 7
幼児・児童体操教室	マット運動を中心に柔軟性・俊敏性等の運動能力の向上を図りました。	通年	体力開発センター トリムルーム プレイルーム	15,480名	15,549名	69
成人体操教室	ゲームやトレーニングで健康・体づくりをする教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	2,760名	3,033名	273
親子体操教室	親と子のふれあいの中で楽しく運動を行う教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム プレイルーム	1,360名	1,475名	115
幼児・児童水泳教室	水慣れから泳法指導まで、泳力に応じて基礎から指導しました。	通年	体力開発センター プール	23,320名	28,471名	5,151
成人水泳教室	年齢・経験を問わず、初心者から経験者まで楽しく泳ぐ教室を行いました。	通年	体力開発センター プール	8,320名	7,666名	△ 654
親子水泳教室	親と子のふれあいの中で楽しく水遊びをする教室を行いました。	通年	体力開発センター プール	2,880名	2,146名	△ 734
ヨガ教室	ゆっくり体を動かし、心と体をリフレッシュする教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	4,800名	3,631名	△ 1,169
スポーツ吹き矢教室	高齢者の人にも楽しく健康・体づくりができる教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	960名	861名	△ 99
水中運動教室	水中歩行等の水の特性を活かし、楽しく運動する教室を行いました。	通年	体力開発センター プール	3,320名	4,241名	921
ハワイアンフラダンス教室	ハワイアンミュージックに合わせて、ゆっくり踊る教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	1,320名	1,240名	△ 80
シェイプアップエアロビクス教室	年齢を問わずリズムに合わせて、シェイプアップする教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	720名	928名	208
太極拳教室	年齢を問わず、手軽に出来る全身運動教室を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	960名	0名	△ 960
親子体操教室	親子のふれあいを通して、運動する楽しさを体験しました。	通年	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	480名	274名	△ 206
幼児体操教室	運動する楽しさを体験し、ルールを守り、大きな声であいさつができるようにしました。	7月～3月	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	300名	163名	△ 137
ヨガ教室	力強さと柔軟性をアップさせ、心身ともにリラックスしました。	通年	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	720名	561名	△ 159
ハワイアンフラダンス教室	ハワイアンミュージックに合わせながら、心も体もリフレッシュしました。	通年	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	240名	87名	△ 153
シニアソフトボール大会	相互審判で交流を深めながら、スポーツを楽しむ機会を提供しました。	10月	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	60名	61名	1

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
キッズフットサル大会	ルールを守り、日頃練習の成果を発揮し、豊かな心身をつくる機会を提供しました。	11月	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	180名	98名	△ 82
成人バスケットボール大会	相互審判で交流を深めながら、スポーツを楽しむ機会を提供しました。	3月	河西緩衝緑地 西松江緑地 体育館	180名	108名	△ 72
健康運動教室	18歳以上を対象にストレッチを中心に健康運動を行いました。	通年	県立体育館 補助館	252名	282名	30
卓球大会	ビギナー・マスターの2クラスで順位を競いました。	偶数月	県立体育館 本館	240名	248名	8
サッカー教室	小学生を対象にアルテリーヴォ和歌山と協力して行いました。	年3回	県立体育館 本館	60名	59名	△ 1
親子ティーボール教室	親子を対象に基礎だけでなく、コミュニケーションの場として行いました。	年1回	県立体育館 本館	20名	38名	18
スポーツ体験教室	個人や少人数のグループでも気軽にスポーツ活動ができるように実施しました。	通年	本館	60名	64名	4
卓球教室	卓球の技術向上とスポーツに親しむきっかけづくりとして行いました。	10月～3月	本館	140名	161名	21
バレーボール交流大会	バレーボール愛好者に大会参加の機会をつくり、交流の場を提供しました。	2月	本館	48名	50名	2
小学生バレーボール教室	小学生を対象に堺ブレイザーズと協力して行いました。	2月	本館	30名	51名	21
親子体操教室	英語に親しみながら親子のスキンシップを図りました。	通年	県立武道館 武道場	720名	572名	△ 148
スポーツ吹矢教室	スポーツ吹矢の楽しさを学ぶとともに参加者同士の交流を図りました。	通年	県立武道館 武道場	320名	362名	42
FUN-FITNESS	簡単な動きの繰り返しでメリハリの有るボディラインを作り体質改善を図りました。 (子育て応援プロジェクト)	年4回	県立武道館 武道場	60名	420名	360
夏休み工作&体操教室	夏休みの宿題対策として「貯金箱」を作り、簡単にできるストレッチ体操を併せて行いました。	夏休み期間中	県立武道館 武道場	15名	16名	1
座禅教室	心と身体を癒しリラクゼーションを図りました。	年3回	県立武道館 武道場	45名	44名	△ 1

公1-2) 県民の心身の健康保持増進に関する事業を行いました。

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
ハワイアンフラダンス&ベリーダンスフェスタ	国体777日前のフェスタの中で行いました。	8月(9月)	ビッグ愛 ホール	200名	0名	△ 200
健康セミナー	講師を招いて、地域の健康意識や健康増進を目的とし行いました。	3月	ビッグ愛 1201号室	120名	120名	0
フェスタ	わかやま国体777日前に地域住民にスポーツ体験や国体競技のPR等で国体をPRするとともに地域交流を図りました。	8月	ビッグホエール 大ホール ビッグウエーブ メインアリーナ 武道場	3,000名	3,000名	0
オリンピックふれあい交流事業	オリンピックを招き小学性に指導を行う事業を誘致しました。	9月	ビッグウエーブ メインアリーナ	150名	55名	△ 95
スポーツ健康講座	健康運動指導士等による生活習慣の改善等の提案等を行いました。	年間2回	体力開発センター トリムルーム	100名	10名	△ 90

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
メタボリック改善講座	健康運動指導士等によるメタボリックの予防・改善の提案等を行いました。	通年	体力開発センター トリムルーム	50名	527名	477
リハビリ相談	理学療法士によるリハビリ相談を行いました。	月1回	体力開発センター 医務室等	20名	14名	△6
夏休み特別教室	水泳が苦手、逆上がりが出来ないこどもを対象にした教室を行いました。	7月～8月	体力開発センター プレイルーム プール	100名	116名	16
プール無料開放	健康保持のため無料でプールが利用出来る日を設定しました。	6月、9月、 12月、3月	体力開発センター プール	1,200名	751名	△449
ふれあいフェスタ	地域住民がふれあうことで、地域の活性と避難場所として周知を図りました。	11月	県立体育館 全館	500名	1,050名	550

公1-(3) 体育施設の管理運営に関する事業

全施設の全般的・統括的な管理運営業務及び貸与業務を担当し、体育施設管理士、体育施設運営士、プール衛生管理者等の有資格者を配置し、スポーツ施設としての専門的知識を持った者による管理運営を行いました。なお、警備業務、機械設備管理業務と保守点検業務は、外部に委託等を行うことにより、安心、安全な施設を保持しました。

- 和歌山ビッグホエール、武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ
- 和歌山県体力開発センター
- 河西緩衝緑地内体育施設
 - 湊緑地ソフトボール場、湊緑地テニスコート
 - 松江緑地多目的運動広場、松江緑地テニスコート
 - 西松江緑地体育館、西松江緑地野球場、西松江緑地陸上グラウンド
 - 河西公園テニスコート、河西公園プール
- 和歌山県立体育館
- 和歌山県立武道館

「こどもの日」及び「体育の日」に体力開発センターの施設を特別開放しました。

その他、施設の利用促進及び管理運営上必要な業務を行いました。

○ 公2事業

公園文化の創造と展開のために、県民に癒しと安らぎを与え、地域住民が集う地域協働型を基調とし、施設の活性化を目的とした都市公園の運営・管理を行うことにより利用の促進を図る事業を行いました。

公2-1) 広大な緑地を活用した体験型事業を行いました。

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
ウォーキング大会	4月は、荒天により実施できませんでした。10月に自治会及び新日鐵住金の協力を得て、松江緑地多目的運動広場から東松江緑地土入川を折り返す約4KMのウォーキング大会を行いました。	10月	河西緩衝緑地 松江緑地 東松江緑地	800名	400名	△ 400
馬とのふれあい体験会	ポニーやサラブレッドとのふれあいの場を提供し、インストラクター指導による体験乗馬を行いました。	1月	河西緩衝緑地 松江緑地 多目的運動広場	150名	100名	△ 50
卒業記念松植樹際	地域ゆかりの松を絶やさないために、地元自治会及び新日鐵住金の協力を得て、地元小学校六年生が卒業記念に、松食虫に強い抵抗性クロマツを植樹しました。	2月	河西緩衝緑地 河西公園	400名	400名	0

公2-2) 緑化推進のための各種教室事業を行いました。

事業名	概要	実施期間	会場	計画人員	実績人員	計画との差異
春の寄せ植え	専門講師による寄せ植え教室で、季節の草花をアレンジしました。	4月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	12名	15名	3
多肉植物の寄せ植え	専門講師による寄せ植え教室を行いました。	6月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	12名	15名	3
工作教室	親子で創意工夫しながら製作し、芝生の上で遊びました。	7月・8月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	40名	38名	△ 2
ゆりの栽培	専門講師による教室で、植え付け方や、育て方を学びました。	9月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	12名	18名	6
ハンギングフラワー	専門講師による教室で、空中花壇ならではのデザインを学びました。	10月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	12名	19名	7
クリスマスリース	緑地公園内の松ぼっくりや、つる等を利用し身近な物で制作しました。	12月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	10名	17名	7
正月の寄せ植え	専門講師による教室で、松竹梅の三種を中心に構成しました。	12月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	10名	18名	8
バラを植える	専門講師による教室で、バラの植え方、育て方等を学びました。	2月	河西緩衝緑地 松江緑地事務所	12名	19名	7

公2-3) 地域協働型公園づくりの基盤となる公園等の基礎的管理及び整備事業

公園の全般的・統括的な管理運営業務を担当し、公園管理運営士等の有資格者を配置し公園緑化施設としての専門的知識を持った者による管理運営を行いました。なお、警備業務植栽管理、機械警備管理業務と保守点検業務は、外部に委託し、安心、安全な公園を保持しました。

その他、緑地の利用促進及び管理運営上必要な業務を行いました。

○ 収1事業

駐車場及び会議室等貸与・自動販売機設置等による物品販売に関する事業を行いました。

(1) ビッグ愛施設貸与事業を行いました。

下記施設の利用促進及び利用料金の徴収業務を行いました。

- ホール、展示ホール、会議室(15室)、附属設備

その他、施設の利用促進及び施設の管理運営上必要な業務を行いました。

(2) 駐車場貸与事業を行いました。

下記駐車場の利用促進及び利用料金の徴収業務を行いました。

- ビッグ愛南駐車場 340台
- ビッグホエール、ウエーブ中央駐車場 386台
- 北駐車場 74台

回数券、プリペイドカードの販売を行いました。

ビッグ愛入居団体及び近隣の公的機関に限定し、定期駐車利用を促進しました。

その他、施設の利用促進及び施設の管理運営上必要な業務を行いました。

(3) 自動販売機による飲料水等販売事業を行いました。

下記施設に施設利用者の利便性を考慮し、飲料水等の自動販売機を設置し、熱中症等の予防と、避難場所に指定されている施設は、災害発生時の飲料水確保を行いました。

- 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 15台(うち災害対応2台、共同募金2台、体協1台)
- 和歌山ビッグホエール 13台(うち災害対応1台)
- 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ 4台(うち体協3台、難病支援1台)
- 和歌山県体力開発センター 5台
- 河西緩衝緑地 14台
- 和歌山県立体育館 5台(うち災害対応3台)
- 和歌山県立武道館 1台

(4) 消耗品等販売事業を行いました。

施設利用者の利便性を考慮し、全ての施設においてコピー・FAXサービスを行いました。

下記施設で、施設を利用する際に必要となる用品等の販売や貸出を行いました。

- 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
養生シート固定用テープ、吊り看板、立て看板、会場設営
テーブルクロス、展示ホール光回線、机、椅子、円卓、仮設電源 等
- 和歌山ビッグホエール・武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ
ビニールラインテープ、ポリラインテープ、養生シート固定用テープ
会場設営、仮設電源、臨時ガス使用、臨時水道使用 等
- 和歌山県体力開発センター
スイムキャップ、ゴーグル、耳栓、ビート板、ヘルパー、ブイ、セームタオル 等
- 和歌山県立体育館
ビニールラインテープ、ポリラインテープ 等

貸借対照表

(単位：円)

平成 26年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,446,565	—	—
未収金	4,384,693	—	—
有価証券	259,987,330	—	—
貯蔵品	953,746	—	—
前払金	2,341,710	—	—
仮払金	37,843	—	—
立替金	67,341	—	—
流動資産合計	299,219,228	—	—
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
運営資産	66,000,000	—	—
役員慰労金引当資産	639,400	—	—
退職給付引当資産	67,699,933	—	—
特定資産合計	134,339,333	—	—
(2) その他の固定資産			
建物	20,825,758	—	—
建物付属設備	2,121,827	—	—
構築物	10,056,481	—	—
車両運搬具	1,234,845	—	—
什器備品	4,271,566	—	—
電話加入権	152,880	—	—
投資有価証券	30,215,850	—	—
ソフトウェア	1,571,731	—	—
その他の固定資産合計	70,450,938	—	—
固定資産合計	204,790,271	—	—
資産合計	504,009,499	—	—
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	121,037,466	—	—
未払消費税	1,623,200	—	—
未払法人税等	5,627,200	—	—
前受金	18,709,691	—	—
預り金	5,200,474	—	—
仮受金	1,000	—	—
流動負債合計	152,199,031	—	—
2. 固定負債			
退職給付引当金	67,699,933	—	—
役員退職慰労引当金	639,400	—	—
固定負債合計	68,339,333	—	—
負債合計	220,538,364	—	—
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	66,000,000	—	—
指定正味財産合計	66,000,000	—	—
(うち基本財産への充当額)	(0)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(66,000,000)	(—)	(—)
2. 一般正味財産	217,471,135	—	—
(うち基本財産への充当額)	(0)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(—)	(—)
正味財産合計	283,471,135	—	—
負債及び正味財産合計	504,009,499	—	—

正味財産増減計算書内訳表

(単位：千円)

平成 25年4月1日から 平成 26年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	合 計
	公1(公益)	公2(公益)	共通(公益)	小計	収1(収益)	共通(収益)	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,110	1,110
事業収益	449,951	101,836	0	551,787	309,512	0	309,512	0	861,299
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	99	99
雑収益	79	0	0	79	1	0	1	986	1,066
経常収益計	450,030	101,836	0	551,866	309,513	0	309,513	2,194	863,573
(2) 経常費用									
事業費	467,773	103,951	0	571,723	265,369	0	265,369		837,093
管理費								3,247	3,247
経常費用計	467,773	103,951	0	571,723	265,369	0	265,369	3,247	840,339
評価損益等調整前当期経常増減額	-17,742	-2,115	0	-19,857	44,144	0	44,144	-1,052	23,234
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	-100	-100
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	-100	-100
当期経常増減額	-17,742	-2,115	0	-19,857	44,144	0	44,144	-1,152	23,134
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
除却損失	2,743	0	0	2,743	2	0	2	0	2,746
経常外費用計	2,743	0	0	2,743	2	0	2	0	2,746
当期経常外増減額	-2,743	0	0	-2,743	-2	0	-2	0	-2,746
他会計振替額	0	0	22,071	22,071	0	-22,071	-22,071	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-20,486	-2,115	22,071	-530	44,141	-22,071	22,071	-1,152	20,389
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	5,627	0	5,627	0	5,627
当期一般正味財産増減額	-20,486	-2,115	22,071	-530	38,514	-22,071	16,443	-1,152	14,761
一般正味財産期首残高	-25,657	0	0	-25,657	5,392	0	5,392	222,974	202,710
一般正味財産期末残高	-46,142	-2,115	22,071	-26,187	43,906	-22,071	21,836	221,822	217,471
II 指定正味財産増減の部									
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	99	99
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	-99	-99
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	66,000	66,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	66,000	66,000
III 正味財産期末残高	-46,142	-2,115	22,071	-26,187	43,906	-22,071	21,836	287,822	283,471

附属明細書

1 特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	運営資産				
	利付国債	45,901,100	24,937,325	45,901,100	24,937,325
	利付国債	19,747,200	0	0	19,747,200
	国庫短期証券	0	20,981,730	0	20,981,730
	定期預金 (紀陽/東和歌山)	351,700	0	17,955	333,745
	運営資産 計	66,000,000	45,919,055	45,919,055	66,000,000
	役員退職慰労引当資産				
	定期預金 (紀陽/東和歌山)	0	928,400	289,000	639,400
	役員退職慰労引当資産 計	0	928,400	289,000	639,400
	職員退職給付引当資産				
	国庫短期証券	28,562,390	427,480	15,100	28,974,770
	大阪府公募公債	9,996,000	0	0	9,996,000
	国庫短期証券	9,990,100	21,233,362	11,228,162	19,995,300
	国庫短期証券	9,990,100	0	9,990,100	0
	定期預金 (紀陽/東和歌山)	4,740,754	1,181	0	4,741,935
	定期預金 (紀陽/東和歌山)	426,242	0	0	426,242
	定期預金 (紀陽/東和歌山)	0	3,565,686	0	3,565,686
	職員退職給付引当資産 計	63,705,586	25,227,709	21,233,362	67,699,933
	特定資産合計	129,705,586	72,075,164	67,441,417	134,339,333

2 引当資産の明細

役員退職慰労引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	0	928,400	259,000	30,000	639,400

職員退職給付引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	63,705,586	3,994,347	0	0	67,699,933

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

当期から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有有価証券

償却原価法（定額法）によっている。

② その他有価証券

決算日における市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっている。ただし建物については定額法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労給付に備えるため、当事業年度末における退職慰労給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 運営資産及び特定資産の増減額及びその残高

運営資産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
運営資産				
投資有価証券	65,648,300	17,955	0	65,666,255
定期預金	351,700	0	17,955	333,745
小 計	66,000,000	17,955	17,955	66,000,000
特定資産				
役員退職慰労引当資産	0	928,400	289,000	639,400
退職給付引当資産	63,705,586	3,994,347	0	67,699,933
小 計	63,705,586	4,922,747	289,000	68,339,333
合 計	129,705,586	4,940,702	306,955	134,339,333

3 運営資産及び特定資産の財源等の内訳

運営資産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
運営資産				
投資有価証券	65,666,255	(65,648,300)	(0)	—
定期預金	333,745	(351,700)	(0)	—
小 計	66,000,000	(66,000,000)	(0)	—
特定資産				
役員退職慰勞引当資産	639,400	(0)	(0)	(639,400)
退職給付引当資産	67,699,933	(0)	(0)	(63,705,586)
小 計	68,339,333	(0)	(0)	(64,344,986)
合 計	134,339,333	(0)	(0)	(64,344,986)

4 担保に供している資産はない。

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	27,911,585	7,085,827	20,825,758
建物付属設備	8,213,405	6,091,578	2,121,827
構築物	22,506,097	12,449,616	10,056,481
車両運搬具	3,723,810	2,488,965	1,234,845
什器備品	68,230,642	63,959,076	4,271,566
機械及び装置	268,800	268,800	0
合 計	130,854,339	92,343,862	38,510,477

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債 60回	19,747,200	21,476,000	1,728,800
利付国債 329回	24,937,325	25,492,500	555,175
国庫短期証券 375回	49,956,500	49,995,000	38,500
大阪府公募公債 71回	9,996,000	10,115,950	119,950
国庫短期証券 401回	19,995,300	19,999,860	4,560
合 計	124,632,325	127,079,310	2,446,985

財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			31,446,565
	未収金	(公財)和歌山県国際交流 他	ビッグ愛入居に係る光熱水費 他	4,384,693
	有価証券	国庫短期証券	全事業及び管理目的の財源として使用する資産	259,987,330
	貯蔵品	消耗品 他	公1・収1事業 施設貸与事業に係る在庫	953,746
	前払金	保険料 他	公1事業 スポーツ教室等に係る補償保険料 他	2,341,710
	仮払金		労働保険料	37,843
	立替金	立替金 ビッグ	収1事業 施設貸与事業に係る光熱水費	67,341
流動資産合計				299,219,228
(固定資産)				
特定資産				
	運営資産			66,000,000
	役員慰労金引当資産			639,400
	退職給付引当資産			67,699,933
その他固定資産				
	建物			20,825,758
	建物付属設備			2,121,827
	構築物			10,056,481
	車両運搬具			1,234,845
	什器備品			4,271,566
	電話加入権			152,880
	投資有価証券	大阪府公募公債		30,215,850
	ソフトウェア			1,571,731
固定資産合計				204,790,271
資産合計				504,009,499
(流動負債)				
	未払金	関西電力 他	電気代 他	128,287,866
	前受金		公1事業 スポーツ教室 他	18,709,691
	預り金		社会保険料	5,200,474
	仮受金		公1事業 過誤徴収分	1,000
流動負債合計				152,199,031
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	役員分	役員の退職慰労金の引当金	639,400
	退職給付引当金	職員分	職員の退職給付金の引当金	67,699,933
固定負債合計				68,339,333
負債合計				220,538,364
正味財産				283,471,135